

要請番号 (JL42423B18)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ヨルダン	G153 音楽	20～45 歳のみ	個別	交替 2代目	2年	・2024/2・2024/3・ 2025/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

外務省

2) 配属機関名（日本語）

パレスチナ難民局

3) 任地（ジェラシュ） JICA事務所の所在地（アンマン）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで 約 1.0 時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先のパレスチナ難民局(DPA)は、長年パレスチナ難民としてヨルダンに居住している人々に対する支援の監督・調整を行っている行政機関である。国際機関である国連難民救済事業機関(UNRWA)は実施機関として、パレスチナ難民の教育や福祉、保健衛生など生活向上のための直接的支援を行っている。JICAはDPA経由でUNRWAに隊員を派遣しており、彼らは難民居住地域や市内に点在するUNRWAが運営する学校(約170校)で主に活動している(2023年10月時点で美術1名、体育4名、小学校教育2名、計7名の隊員が活動している)。配属校は、1968年に設置された難民居住地(登録難民29千人)にある。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

2014年から小学校低学年に対して週1回の音楽授業が必須となったものの、学校教育は進学試験の対象となっている主要科目に重点を置かざるを得ず、音楽の専任教員数や施設・用具は不足している。また、担任制となる1年生から3年生までは音楽を担当する教員の低い意欲や技能不足もあり、授業が適切に行われていないところが多いため、隊員が要請された。隊員は現地教員の技能や指導法の向上を目的に、現地教員が担当している音楽授業を補佐するとともに、授業内容改善のためのアイデアの提供や助言を行う。また、音楽会等を企画・開催して、家族や地域住民の音楽教育についての理解促進を図るとともに、児童生徒の健全な情操育成を促進する。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

- 現地教員のアシスタント教師として、音楽の授業を補佐しながら指導スキルの向上を目指す。
- 校内音楽会などのイベントを通じて、関係者に対して音楽教育の理解促進を図る。
- 配属校での活動に余裕があれば、他の音楽隊員やUNRWA関係者と協力してワークショップや音楽会などのイベントを開催する。また、UNRWAの学校で活動する他分野(美術、体育)隊員が実施する、展覧会や運動会などのイベントを可能な範囲で支援する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

隊員連絡所に隊員共有の楽器(リコーダー、電子ピアノ、ハンドベル等)あり

4) 配属先同僚及び活動対象者

UNRWA教科主任(女性・50代)
学校:低学年教師(女性・30-40代)
女子児童生徒(1-10年生、各学年80-100人程度)

5) 活動使用言語

アラビア語

6) 生活使用言語

アラビア語

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：(中学校又は高等学校教諭(音楽))
(小学校教諭)

[学歴]：(大卒) 備考：同僚が大卒のため

[性別]：(女性) 備考：女子校で指導するため

[経験]：(指導経験)3年以上 備考：経験ある教師と活動するため

[参考情報]：

- ・小学校低学年への音楽指導経験
- ・上記免許/資格のどちらかは必須

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(地中海性気候) 気温：(0～40℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

活動内容は、上記を基本に、着任後配属先長や同僚と相談しながら決めていくことになる。